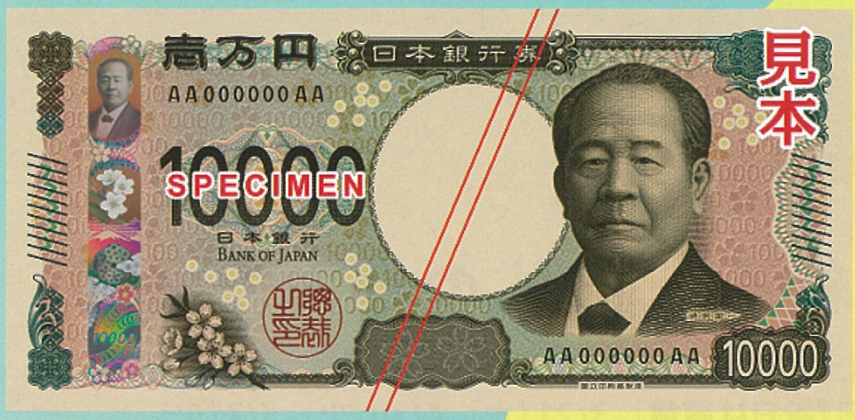
藩札から近代紙幣へ

―渋沢栄一、新壱万円札の顔となる！

日本銀行券　新一万円／出典：国立印刷局ホームページ



国立銀行紙幣（新券）　1円

国立銀行紙幣（旧券）　10円

御産物木綿預手形　1文目
（一橋領播州今市）表・裏

太政官札　金10両

2024年3月16日(土)～5月12日(日)

会期中の休館日　月曜日［祝日は開館］、
3/21（木）、4/30（火）、5/7（火）

開　館　時　間　10:00～17:00［最終入館16:30］

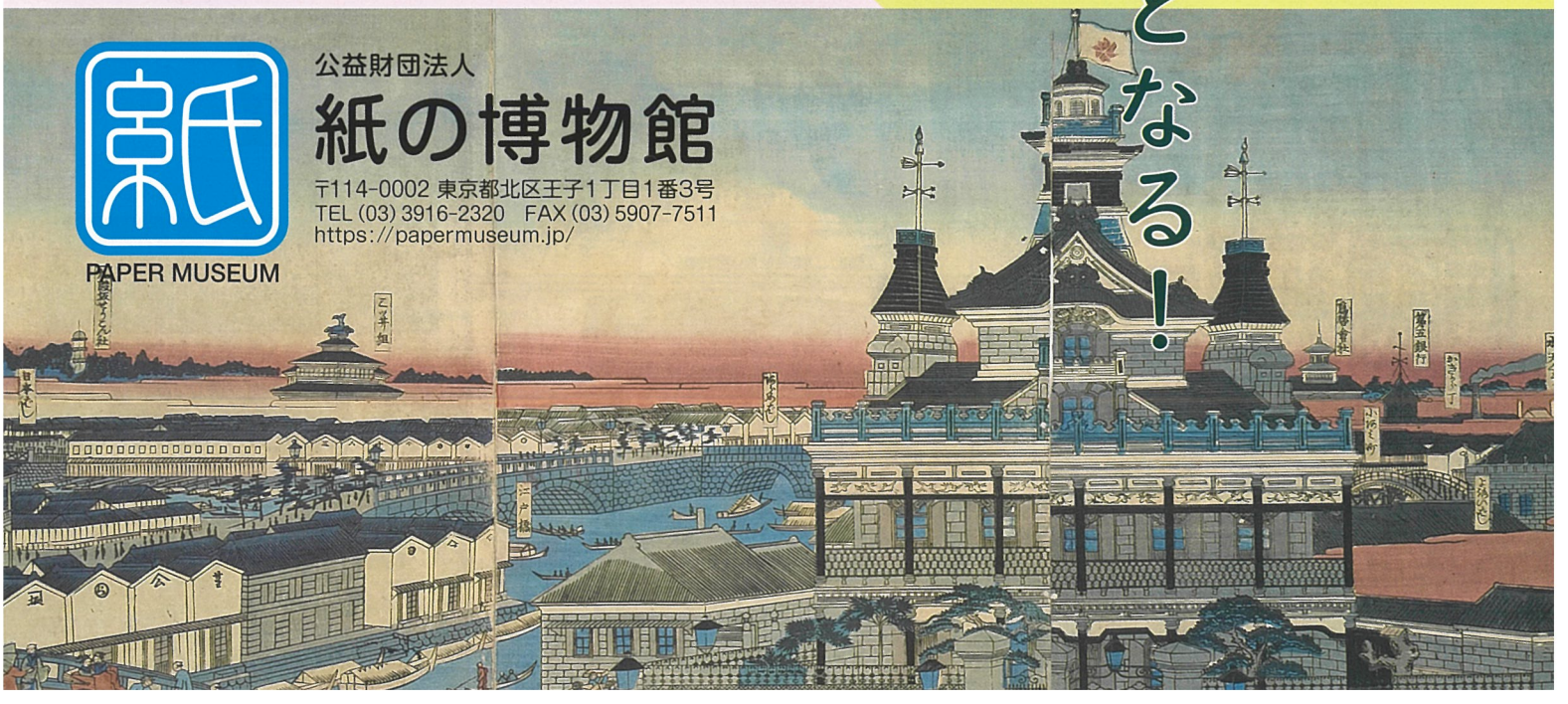
【会期中のイベント】

- **浮世絵手摺り実演・体験会　5/6（月・祝）**
- **紙すき教室　毎週土曜・日曜、5/3（金・祝）**

藩札用版木（櫛羅藩）

名塩産藩札原紙

公益財団法人
紙の博物館
〒114-0002 東京都北区王子1丁目1番3号
TEL (03) 3916-2320　FAX (03) 5907-7511
https://papermuseum.jp/
PAPER MUSEUM



藩札から近代紙幣へ
―渋沢栄一、新壱万円札の顔となる！

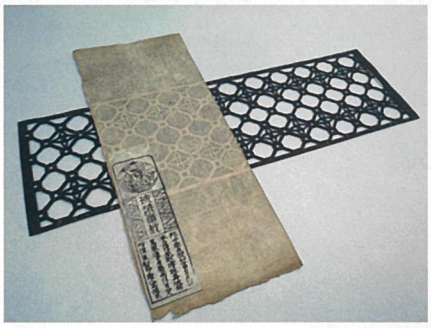
会期：2024年3月16日(土)～5月12日(日)
会期中の休館日：月曜日［祝日は開館］、3/21（木）、4/30（火）、5/7（火）

今年7月3日、20年ぶりに新しい「日本銀行券」が発行されます。その新紙幣の壱万円札の肖像には、渋沢栄一が採用されました。渋沢は、日本の近代経済社会の基礎を築いたことで知られますが、一橋領の藩札の発行や、新貨条例・国立銀行条例などの制度づくり、洋紙製造会社の立ち上げなど、紙幣の発行や流通においても、大変重要な役割を果たしました。

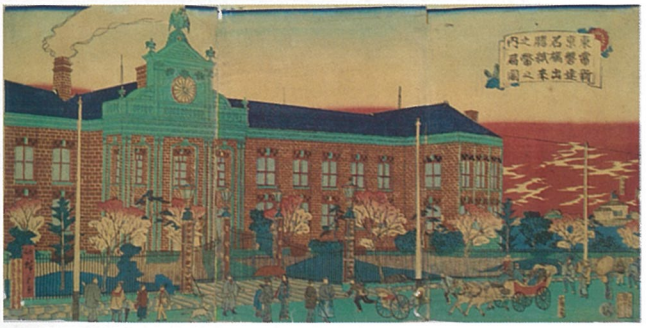
本展示では、紙幣が日本において本格的に使用されるようになった、江戸時代のいわゆる藩札と、現在に通じる円を単位とした近代紙幣について、渋沢栄一との関わりなども交えてご紹介します。素材としてほとんど価値のない紙が紙幣として流通するためには、何よりも信用が第一です。身近でとても奥深い紙、紙幣について考えてみましょう。

渋沢栄一（古希/1909年）：渋沢史料館所蔵
新壱万円札肖像の参考とされた写真

版木と藩札（櫛羅藩）



藩札漉込型紙と藩札原紙・藩札（松江藩）



錦絵「東京名勝之内　常盤橋紙幣局新建出来之図」

会期中のイベント

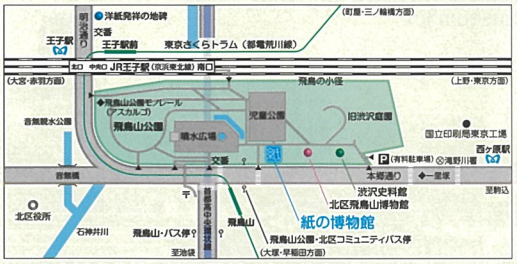
詳細はホームページ

●浮世絵手摺り実演・体験会
5月6日（月・祝）　＊事前申込制

●紙すき教室
毎週土曜・日曜、5月3日（金・祝）

公益財団法人
紙の博物館
〒114-0002 東京都北区王子1丁目1番3号
TEL (03) 3916-2320　FAX (03) 5907-7511
https://papermuseum.jp/
PAPER MUSEUM

［開館時間］　10:00～17:00（最終入館16:30）
［休 館 日］　月曜日［祝日は開館］、祝日直後の平日、年末年始、臨時休館日
［入 館 料］　一般400円（320円）/小中高200円（160円）
※（ ）内は、20名以上の団体料金
＊身体障がい者手帳、愛の手帳（療育手帳）または精神障がい者福祉手帳をお持ちのご本人は無料、介助の方は半額となります。



・ＪＲ京浜東北線　王子駅（南口）　徒歩5分
・東京メトロ南北線　西ヶ原駅　徒歩7分
・東京さくらトラム（都電荒川線）　飛鳥山停留場　徒歩3分
・都営バス（王40甲・王55・草64系統）　飛鳥山停留所　徒歩4分
・北区コミュニティバス　飛鳥山公園停留所　徒歩3分

次期展示

ミニ展示　紙博のあゆみ
5月21日（火）～6月30日（日）

企画展　紙の自由研究
7月13日（土）～9月1日（日）

【館内設備工事による臨時休館のお知らせ】　2024年12月1日（日）～2025年2月28日（金）